

令和 3年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：地域医療対策担当
 内線：3643 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B41	災害医療体制強化推進事業			一般会計	衛生費	医薬費	医務費	災害医療体制整備費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	災害対策基本法、災害救助法、埼玉県地域防災計画、医療法			宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール	11, 13
					分野施策	020516 危機管理・防災体制の強化	SDGsターゲット	11-5, 11-b, 13-1	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>大規模な災害が毎年発生する中、災害拠点病院やDMAT、地域の医療関係者の活動がますます重要になっている。</p> <p>そこで、県独自の「災害時連携病院」及び県内で活動する「地域DMAT」制度を創設するとともに地域の関係機関の連携訓練を実施し、災害対応能力を強化することで、本県の医療提供体制を確立する。</p> <p>(1) 災害医療体制整備事業 17,566千円 (2) 地域の災害医療体制強化事業 10,697千円 (3) 災害時医療人材養成事業 1,233千円 (4) 埼玉DMAT養成事業 10,646千円 (5) 地域の災害対応能力強化・連携事業 5,446千円</p>			<p>(1) 事業内容 大規模な災害に備えるため、東日本台風（令和元年10月）の教訓を踏まえつつ、地域で災害対応の中核を担う人材のレベルアップを図る。また、災害拠点病院に加え、災害時の患者受入れの拠点となる災害時連携病院を指定することで、本県医療体制の更なる強化を推進する。</p> <p>ア 災害医療体制整備事業 17,566千円 (ア) 災害拠点病院・埼玉DMAT整備事業 (イ) 災害時通信機器整備事業 イ 地域の災害医療体制強化事業 10,697千円 ウ 災害時医療人材養成事業 1,233千円 エ 埼玉DMAT養成事業 10,646千円 オ 地域の災害対応能力強化・連携事業 5,446千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 災害時連携病院の指定 R3年度～ イ 地域DMATの登録の実施 ウ 埼玉DMAT養成研修の実施、インストラクター養成 R3年度 10人・統括DMAT養成 R3年度 4人 エ 地域の関係機関の連携訓練 R3年度 7保健所、R4年度 6保健所</p> <p>(3) 事業効果 ア 災害時連携病院の指定数 R3年度 10病院 イ 埼玉DMAT（地域DMAT含む）指定数 R5年度末 60隊以上（第7次県地域保健医療計画） ウ 地域ごとのコーディネート機能の確認を行う災害訓練の年間実施回数 R1年度末 3回 → R5年度末 10回</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) 国10/10、国1/3・県2/3、県10/10 (2) (3) (4) (5) 県10/10</p>									
3 地方財政措置の状況									
<p>普通交付税（単位費用） (区分) 衛生費（細目）医療行政費 (細節) 特別医療対策費 (積算内容) 医療施設等設備整備費</p>									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×3.7人=35,150千円									
			財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
予算額		国庫支出金							
決定額	45,588	7,760						37,828	23,172
前年額	22,416	7,510						14,906	